

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形 成支援分野 2024年度以降 生きる力を育む科目 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 発達障害児者の理解と支援 (英文名) Understanding and Supporting Children with Developmental Disabilities				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 高橋 由子 (ローマ字) TAKAHASHI Yuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	なし	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	発達障害、アセスメント、支援法 Developmental disabilities, Assessment, Support methods				
21. 授業概要	発達障害について幼児期から成人にかけてのアセスメントと支援法について講義を行います。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	発達障害児者のライフステージに応じた課題について知り、必要な支援を提供するために必要な実態把握とそれに基づく支援法の在り方について、考えられる人材を育成することを目的とする。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	発達障害児者のライフステージに応じた課題、アセスメント及び支援法について理解をする。				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	Moodle上で毎週授業動画及び資料を公開いたします。 第1回:オリエンテーション 第2回:自閉スペクトラム症の理解と支援① 第3回:自閉スペクトラム症の理解と支援② 第4回:注意欠陥多動症の理解と支援① 第5回:注意欠陥多動症の理解と支援② 第6回:学習障害の理解と支援 第7回:発達性協調運動障害の理解と支援 第8回:家族支援、関係機関との連携				<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	授業中に提示いたします。				<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	コメントシート(40%)、最終レポート(60%) ・単位修得のためには合計60点以上を取得する必要があります。 ・各回の学修活動が出席に相当します。				<input type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無			<input type="checkbox"/>	
	連携大学学生向け	無				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学_10_名・徳島大学_10_名・鳴門教育大学_10_名・高知大学_10_名・愛媛大学_10_名				<input type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	毎回の授業コンテンツについて、取り組み時間を十分に確保したスケジュールで提示いたします。 そのため、各自で余裕のある計画をたて、進めてください。 期限を過ぎたものについての猶予措置等是对応できません。				<input type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	発達障害支援者のための標準テキスト			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名	辻井正次・監修	
		出版社	金剛出版	出版年	2024	
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
出版社			出版年			

		金額		備考	
	参考書3	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	毎週木曜2限(メールで要予約)			<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	メール等でご連絡をいただければ、オンライン等に対応いたします。 その場合、原則は毎週木曜2限となります。			<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	takahashi-y@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	takahashi-y@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	教育・保健・福祉・医療領域で発達障害児者の相談・支援に携わったことのある教員が、発達障害児者の支援に関する授業を行う。				<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	字幕付与、UDフォント、カラーに配慮しております。				<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育科目		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴(教科書を併用する)+ 自学自習(教科書の使用を含む)+小テスト受験)×15回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	2023年度以前 教養科目社会分野 2024年度以降 人文・社会科学系領域		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名 ／英文併記	(日本語名) NPOと大学の経営 (英文名) Management of NPO(Non-Profit Organization) and the University				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 非営利法人の社会的役割 (英文名) Social Role of the Non-profit Corporation				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 岩崎 保道 (ローマ字) IWASAKI, Yasumichi				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学部全学科	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目 コード番号)	自大学 学生向け	03030(大学政策論入門) 03031(非営利法人経営入門)
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	NPO(Not-for-Profit Organization)、大学、非営利法人、公益、経営 NPO(Not-for-Profit Organization), University, Non-profit Corporation, Public interests, Management				
21. 授業概要	<p>当授業は、NPO(非営利組織)の社会的役割及び存在意義を学ぶとともに、学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など各分野の概要や取り巻く経営環境、特徴について四国の状況を含めて解説します。また、NPOの一つである大学の基本的機能(教育研究、社会貢献)及び社会的使命を学ぶとともに、大学がどのような仕組みのもとで事業を展開しているのか明らかにして大学の事業活動を支える、経営管理や組織、財務などの業務内容を解説します。</p> <p>以上を趣旨として、各テーマ(「NPO(非営利組織)の社会的役割」「NPO(非営利組織)の各分野における経営環境や社会的役割、特徴」「フィランソロピーとソーシャルアントレプレナー」「大学の基本的機能」「大学と地域の連携」「人的資源の能力開発」「大学発ベンチャー」など)を取り上げます。</p> <p>授業方法は動画の視聴を基本として、教科書を使用しながら説明します。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO(非営利組織)の社会的役割や公益性を学ぶとともに、社会的ニーズへの対応状況や存在意義について理解を深める</li> <li>・NPO(非営利組織)の各分野(学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など)を取り巻く経営環境や特徴を把握する</li> <li>・大学の基本的機能(教育研究、社会貢献)及び社会的使命を学ぶとともに、大学を取り巻く厳しい経営</li> </ul>				<input checked="" type="checkbox"/>

	<p>環境について理解を深める</p> <p>・大学の事業活動を支える経営管理や組織、財務などの業務内容を把握する</p>	
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>(1)NPO(非営利組織)の社会的役割や公益性とともに、その存在意義が理解できるようになる</p> <p>(2)NPO(非営利組織)における各分野を取り巻く経営環境や特徴が説明できるようになる</p> <p>(3)大学の基本的機能や社会的使命とともに、その存在意義が理解できるようになる</p> <p>(4)大学の機能を支える経営管理や組織、財務などの管理体制の概要が説明できるようになる</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><u>1 NPOの社会的役割(Ⅰ—1)</u> NPOの定義や社会的役割、分野や社会的ニーズの観点からみた存在意義</p> <p><u>2 医療法人の経営環境(Ⅰ—2)</u> 医療法人の社会的役割や経営環境、特徴</p> <p><u>3 社会福祉法人の経営環境(Ⅰ—3)</u> 社会福祉法人の社会的役割や経営環境、特徴</p> <p><u>4 NPO法人の経営環境(Ⅰ—4)</u> NPO法人の社会的役割や経営環境、特徴</p> <p><u>5 宗教法人の経営環境(Ⅰ—5)</u> 宗教法人社会的役割や経営環境、特徴</p> <p><u>6 社団法人及び財団法人の経営環境(Ⅰ—6)</u> 財団法人と社団法人の社会的役割や経営環境、特徴</p> <p><u>7 フィランソロピーとソーシャルアントレプレナー(Ⅰ—7)</u> フィランソロピー及びソーシャルアントレプレナーの社会的役割や特徴</p> <p><u>8 大学の基本的機能と経営(Ⅱ—1)</u> 大学の基本的機能(教育・研究・社会貢献)と、それを支える経営組織</p> <p><u>9 大学におけるIR(Institutional Research)の活用(Ⅱ—2)</u> 大学におけるIRの定義や活用方法、期待される効果</p> <p><u>10 大学の広報戦略(Ⅱ—3)</u> 大学広報の目的や期待される効果、広報戦略の在り方</p> <p><u>11 大学提携による機能強化(Ⅱ—4)</u> 組織提携の目的や効果と事例(大学コンソーシアムなど)</p> <p><u>12 大学の地域連携による社会的役割(Ⅱ—5)</u> 大学が地域連携を行う目的や社会的役割、効果</p> <p><u>13 大学発ベンチャーの展開(Ⅱ—6)</u> 大学発ベンチャーの展開や社会的効果</p> <p><u>14 大学教職員の人材育成(Ⅱ—7)</u></p>	<input checked="" type="checkbox"/>

	<p>大学における教職員の人材育成の目的や能力開発(FD及びSD)の必要性</p> <p>15 大学の財政(Ⅱ—8)</p> <p>会計の基本的役割と大学財政の特徴</p>					
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>各回の授業の動画を視聴して、「小レポート(または、理解できたこと)」を提出してください。なお、授業に対する質問があれば受け付けます。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>			
28. 成績評価の方法と基準	<p>評価基準: 下記の小レポート及びレポート試験が達成目標に達しているか総合的に判断します。</p> <p>評価方法: 授業に対する積極性や小レポート(50点)、レポート試験(50点)とします。詳細は別途、示します。単位取得条件として、合計60点以上を取得する必要があります。なお、モジュール内の学修が出席に相当します。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>			
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
	連携大学学生向け	なし				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学80名 徳島大学80名 鳴門教育大学5名 高知大学30名 愛媛大学80名</p>		<input checked="" type="checkbox"/>			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>(1) 担当教員からのメッセージ</p> <p>NPO(非営利組織)が関わる分野は、教育、保健医療、福祉、社会的支援などの公益性を含む事業であり多岐にわたります。NPOが社会に果たしてきた役割は大きく、社会を支える機能を担っています。履修生の皆さんもNPOに関わる機会があると思います。また近年、大学に対する社会的要望や期待が高まってきました。大学には、我が国の科学技術の発展や社会的変革への原動力として、教育研究を通じて展開していく使命があります。学生の皆さんが学ぶ大学の基本的な機能(教育研究、社会貢献)や社会的な役割を学ぶことは大切なことです。</p> <p>このようにNPO及び大学は、多様な活動を行っていますが、ご存じない事柄があるかもしれません。その意味において、この授業を通じて、NPO及び大学に関わる新たな知見や学びを得ることができると思います。NPO及び大学の活動に関心を持つ学生で、その社会的役割や経営環境について学びたい方の受講を望みます。なお、当授業は専門知識を持たない方にも分かりやすく説明します。</p> <p>(2) 履修希望学生に求めるもの</p> <p>本授業では、NPO(非営利組織)の社会的役割や具体的な活動内容について学ぶため、NPOに関わる基礎的な知識や近年の動向について、教科書などの資料を予習して把握しておくことが望ましいです。また、大学の基本的な機能(教育研究、社会貢献)や大学政策について学ぶため、大学に関わる基礎的な知識や近年の動向について、教科書などの資料を予習して把握しておくことが望ましいです。</p> <p>(3) その他</p> <p>「14 大学職員の人材育成(Ⅱ—7)」についてはゲストスピーカーが担当します(「40. その他／備考」を参照)。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	『非営利法人経営論』		<input checked="" type="checkbox"/>	
		ISBN	978-4-86429-285-6	著者名		岩崎保道編
		出版社	大学教育出版	出版年		2014年
		金額	本体1,800円 + 税	備考		紙媒体は大学生協や(株)大学教育出版、各種オンライ

					ンショップのサイトで購入可。電子書籍も有り。紙媒体または電子書籍のいずれかを購入すること。		
	教科書2	書名	『大学の戦略的経営手法』				
		ISBN	978-4-86429-358-7	著者名	岩崎保道編		
		出版社	大学教育出版	出版年	2016年		
		金額	本体1,800円 + 税	備考	大学生協や㈱大学教育出版、各種オンラインショップのサイトで購入可		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名					<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN		著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
	参考書2	書名					
		ISBN		著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
	参考書3	書名					
		ISBN		著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>					<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目		特になし		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程						<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	火曜日、水曜日、木曜日の1限目 希望する場合、あらかじめメールアドレスにより予約してください(高知大学 教育学部1号館5階 岩崎研究室)				<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特になし				<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール (yiwasaki@kochi-u.ac.jp) にて連絡してください				<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	同上				<input checked="" type="checkbox"/>	

40. 教員の実務経験について	<p>「実務経験のある教員による授業科目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務家教員 岩崎保道 / 高知大学IR・評価機構の教員として、IR (Institutional Research) 業務を担っている。この業務で得た知識や経験をもとに、IRに関わる授業(9 大学におけるIR (Institutional Research)の活用(Ⅱ—2))を行う。また、学校法人事務局の経理課職員を務めていた。この業務で得た知識や経験をもとに、財務に関わる授業(15 大学の財政(Ⅱ—8))を行う。</li> <li>・実務家教員 中元崇 / 大学コンソーシアム京都の勤務経験として、FD/SDを担当する事業部に所属していた。この経験を踏まえてFD/SDに関する授業(14 大学職員の人材育成(Ⅱ—7))を行う。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	授業動画は全て字幕付き	<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他/備考	特になし	<input checked="" type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目社会分野 2024年度以降 視野を広げる科目 人文・社会科学系領域		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) アンケート調査法入門				
	(英文名) Introduction to Quantitative Survey				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 寺田 悠希				
	(ローマ字) TERADA Yuuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	無し	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	量的調査、ワーディング、サンプリング、ウェブアンケート、調査倫理 Quantitative Survey, Survey Question Wording, Sampling, Web Questionnaire, Ethical Considerations in Research				
21. 授業概要	社会調査法のうち、アンケート調査法について調査の企画・設計・データ収集・分析・結果報告という一連のプロセスについて学びます。特に、近年利用されることの多いウェブアンケート調査が実施できるように演習を行います。あわせてアンケート調査の読み取り方についても学び、リサーチ・リテラシーを身につけます。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	アンケート調査法について調査の企画・設計・データ収集・分析・結果報告という一連のプロセスについて理解し、実際にウェブアンケート調査を用いた研究計画が立案できることを目的とします。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疑似相関の事例について1つ以上挙げることができる。</li> <li>2. アンケート調査の一連の流れを説明できる。</li> <li>3. 調査倫理について配慮できる。</li> <li>4. 調査対象についてリサーチクエスチョンを立て、それをアンケートに反映させることができる。</li> <li>5. 調査票作成上の注意点について2つ以上説明できる。</li> <li>6. 標本抽出方法について2つ以上説明できる。</li> <li>7. 調査実施方法について2つ以上説明できる。</li> <li>8. ウェブアンケートを作成することができる。</li> <li>9. ウェブアンケート結果を整理して単純集計表を作成できる。</li> </ol>				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)	
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)	
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション、アンケートを読解する 身近なアンケート調査の例、アンケート調査を疑う視点</li> <li>2. 様々な社会調査の方法と倫理的配慮を知る 量的調査と質的調査、調査倫理</li> <li>3. アンケートを設計・実施する(1) 調査の一連の流れ、調査実施方法の選択</li> <li>4. アンケートを設計・実施する(2) リサーチクエスチョンを立てる、理論仮説と作業仮説</li> <li>5. アンケートを設計・実施する(3) 調査対象者を選ぶ方法(サンプリング)</li> <li>6. アンケートを設計・実施する(4) 調査票作成とその注意点(ワーディング・質問の配置・回答不可能にしない工夫など)</li> </ol> <p>&lt;中間課題の提出&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. アンケートを設計・実施する(5) ウェブアンケート調査の特徴と課題、ウェブアンケートフォームの作成方法、データの整理</li> <li>8. アンケートを分析する 変数の要約、単純集計表・クロス集計表の作成</li> </ol> <p>&lt;最終課題の提出&gt;</p> <p><b>【授業及び学習の方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Moodle上の資料を読み知識を身に付ける。</li> <li>2. 身に付けた知識を確認するために用意された問題を解く。</li> <li>3. 資料で学んだ知識と確認用の問題に関するミニ課題を提出する。</li> <li>4. 中間課題では、既存の研究やデータを調べた上でオリジナルのリサーチクエスチョンを立てる。</li> <li>5. 最終課題では、中間課題からさらにブラッシュアップしたりサーチクエスチョンを立て、それを明らかにするために必要なウェブアンケートフォームを作成する。</li> </ol>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>毎回のミニ課題提出には、復習する時間が必要です(1.5時間程度×8回)。中間課題では、既存の研究やデータを調べた上でオリジナルのリサーチクエスチョンを立てる必要があります(6時間程度)。最終課題では中間課題からさらにブラッシュアップしたりサーチクエスチョンを立て、それを明らかにするために必要なウェブアンケートフォームを作成します(12時間程度)。</p>

28. 成績評価の方法と基準	<p>毎回のミニ課題:40%</p> <p>中間課題(リサーチクエスションの設定):25%</p> <p>最終課題(ブラッシュアップ後のリサーチクエスションのウェブアンケートフォームの作成):35%</p> <p>単位の修得には60点以上の成績が必要です。各回の学修活動が出席に相当します。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学 10 名・徳島大学 10 名・鳴門教育大学 5 名・高知大学 25 名・愛媛大学 10 名</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p><b>【履修希望学生に求めるもの】</b></p> <p>1. 事前準備</p> <p>(1) アンケート調査の例を調べておく</p> <p>ネット上でも新聞でも構わないので、気になったアンケート調査を1つ以上探してください。そのうちの1つについて調査に対する疑問・疑念を考えておいてください。</p> <p>(2) 前提となる知識</p> <p>必要に応じて説明を加えますが、基本的には高等学校・数学Iの「データの分析」単元を学習していることを前提として説明します。「平均・分散・標準偏差・散布図・相関係数・仮説検定」といったキーワードについてあらかじめ復習したうえで授業に臨んでください。</p> <p>(3) パソコンの環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに接続可能で、Microsoft Excelが使用可能なパソコンを利用できる環境が必要です。パソコンのOSは、Windows (11以降) を想定しています(自分が所有するパソコンでなくても結構です)。</li> <li>・Microsoft Excel のバージョンは、2016以降を想定しています。</li> <li>・Excel for Mac(2016以降)の利用も問題ないと考えておりますが、担当教員が対応できないため、なるべくWindowsを使用するようにしてください。</li> </ul> <p>2. Googleアカウントの作成</p> <p>ウェブアンケートを作成する際にGoogle Formを使用します。Google Formを使用するためにはアカウントの作成が必要です。アカウント作成方法については授業で担当教員が説明します。</p> <p>3. 学習を進める自律心</p> <p>この授業は非同期型eラーニングです。リアルタイムの対面講義と異なり、自分自身で学習しようと思わないと学習を進めることができません。好きな時間に学ぶことができますが、ある程度の計画性をもって学習しましょう。</p> <p>4. 積極的な質問</p> <p>この授業では対面で授業を行うことができない代わりに、Moodle上にある専用掲示板(フォーラム)でいつでも質問することができます。オフィスアワーも活用してください。</p> <p><b>【履修上の注意】</b></p> <p>この科目は、専門科目で社会調査について学習する予定の「ない」学生を想定して設計しています。また、この科目は社会調査士等の資格取得に関する科目ではないので、注意してください。</p>		☑

	<p>【担当教員からのメッセージ】</p> <p>これまで皆さんは様々なアンケート調査に回答したり、様々なメディアでアンケート調査結果を読んだりしたことがあると思います。そうした経験の中で、アンケートに答えづらいなと思ったり、そのアンケート結果からそんなことを言ってもいいのかなと思ったりしたことはありませんか。この授業ではアンケート調査の方法を身につけるなかで、結果を読む際のリテラシーも学びます。</p> <p>また、様々な組織や団体でアンケートはたくさん行われています。皆さんが大学を卒業した後にアンケート実施担当者になることがあるかもしれません。あるいは、誰かが実施したアンケートの結果報告を聞く立場になるかもしれません。様々な立場でこの授業で身につけた知識とスキルを活かす日が来るはずです！</p>																																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="368 595 1412 792"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="368 835 1412 1525"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">入門・社会調査法[第4版]</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4-589-04141-8</td> <td>著者名</td> <td>轟亮・杉野勇・平沢和司(編)</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>法律文化社</td> <td>出版年</td> <td>2023年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,700円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4-16-660110-3</td> <td>著者名</td> <td>谷岡一郎</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文藝春秋</td> <td>出版年</td> <td>2000年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>858円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">大学生のためのウェブ調査入門——社会科学からみた設計と実装</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4-7664-3012-7</td> <td>著者名</td> <td>吉村治正・増田真也・正司哲朗</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>慶應義塾大学出版会</td> <td>出版年</td> <td>2025年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,750円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名	入門・社会調査法[第4版]			ISBN	978-4-589-04141-8	著者名	轟亮・杉野勇・平沢和司(編)	出版社	法律文化社	出版年	2023年	金額	2,700円	備考		参考書2	書名	「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ			ISBN	978-4-16-660110-3	著者名	谷岡一郎	出版社	文藝春秋	出版年	2000年	金額	858円	備考		参考書3	書名	大学生のためのウェブ調査入門——社会科学からみた設計と実装			ISBN	978-4-7664-3012-7	著者名	吉村治正・増田真也・正司哲朗	出版社	慶應義塾大学出版会	出版年	2025年	金額	2,750円	備考		<input checked="" type="checkbox"/>
参考書1	書名	入門・社会調査法[第4版]																																																						
	ISBN	978-4-589-04141-8	著者名	轟亮・杉野勇・平沢和司(編)																																																				
	出版社	法律文化社	出版年	2023年																																																				
	金額	2,700円	備考																																																					
参考書2	書名	「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ																																																						
	ISBN	978-4-16-660110-3	著者名	谷岡一郎																																																				
	出版社	文藝春秋	出版年	2000年																																																				
	金額	858円	備考																																																					
参考書3	書名	大学生のためのウェブ調査入門——社会科学からみた設計と実装																																																						
	ISBN	978-4-7664-3012-7	著者名	吉村治正・増田真也・正司哲朗																																																				
	出版社	慶應義塾大学出版会	出版年	2025年																																																				
	金額	2,750円	備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学学生向け	11月から1月の毎週木曜日(年末年始除く)の12:50~14:00をオフィスアワーとする予定ですが、変更になる場合もありますので、授業の中で説明します。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学学生向け	moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム)を利用すること。なお、リアルタイムで相談がある場合は事前に連絡いただければ日程調整します。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	y-terada@kochi-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	y-terada@kochi-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	大学事務職員として実施した学生アンケートやマーケティング調査の経験を活かして、ウェブアンケート調査の方法について実践的な解説を加えます。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目自然分野 2024年度以降 自然科学系領域		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) インタフェースデザイン概論 (英文名) Introduction to Interface Design				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 三好 康夫 (ローマ字) MIYOSHI Yasuo				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1年次以降／全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年次以降／全学部	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	ヒューマンインタフェース, 入力デバイス, インタラクションデザイン, 情報デザイン Human Interface, Input Devices, Interaction Design, Information Design				
21. 授業概要	本授業では、ヒューマンインタフェースの概念や人間の特性、情報システムの使いやすさ等について概説し、主にソフトウェアのユーザインタフェース設計手法について言及する。情報システム等の使いやすさの論理的な評価方法や、使いやすさを意識した GUI 設計の考え方を学ぶ。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	・ヒューマンインタフェースの概念を学び、情報システムの使いやすさについて考える。 ・Web デザインやスマートフォン・タブレットアプリ開発の手法や、情報デザインとインタラクションデザインの考え方を学ぶ。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1) 情報システム等の使いやすさを論理的に評価することができる (2) 使いやすさを意識した GUI 設計の考え方を説明できる				☑
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※ 授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス, ヒューマンインタフェースとは</li> <li>2. Webやモバイル端末におけるヒューマンインタフェース</li> <li>3. コミュニケーション支援, インタラクションのデザイン</li> <li>4. 情報のデザイン, サイト設計, ユーザビリティ評価</li> <li>5. 人間の情報処理モデル, ヒューマンエラー, 人間サイドからの設計</li> <li>6. 情報入力系, 情報出力系, インタラクションの拡張</li> <li>7. ユーザのアシスト, ユニバーサルデザイン, 今後のヒューマンインタフェース</li> <li>8. ペーパープロトタイピング, 期末レポート</li> </ol>				☑	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learning コンテンツの視聴確認も兼ねて, 各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。				☑	
28. 成績評価の方法と基準	各回的小テストを計 35 点満点, 各回のレポートを計 35 点満点, 期末レポートを 30 点満点で評価し, 合計 60 点以上を合格とする。ただし, 各回(1~7 回)の小テストとレポートを全て提出しなければ, 期末レポートは提出できないので注意すること。				☑	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし			☑	
	連携大学学生向け	なし				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学 15 名・徳島大学 15 名・鳴門教育大学 15 名・高知大学 15 名・愛媛大学 15 名</p>				☑	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第 1 回目から第 8 回目までの受講はすべて, インターネットに接続できるパソコンから Moodle とよばれる LMS(Learning Management System)にアクセスして e-Learning コンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は, 話のポイントをノートに書き取るなど, 主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については, 第 1 回(ガイダンス)を参照されたい。</p>				☑	
32. 教科書(購入の必要のある図書)					☑	
	教科書 1	書名	イラストで学ぶヒューマンインタフェース 改訂第3版			
		I S B N	978-4-06-537940-0	著者名		北原義典
		出版社	講談社	出版年		2024
金額		2,600 円+税	備考			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書 1	書名				□
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書 2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書 3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Web テキスト (URL・説明)	大学連携 e-Learning 教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				☑	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし		☑	
37. 教員相互参観授業公開日程					□	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(miyoshi+el@is.kochi-u.ac.jp)を利用してください			☑	
	連携大学 学生向け	電子メール(miyoshi+el@is.kochi-u.ac.jp)を利用してください			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	miyoshi+el@is.kochi-u.ac.jp			☑	
	連携大学 学生向け	miyoshi+el@is.kochi-u.ac.jp			☑	
40. 教員の実務経験について	無し				☑	
41. バリアフリー対応	授業動画は全て字幕付き				☑	
42. その他／備考	高知大学理工学部情報科学科の学生と、高知大学理学部応用理学科情報科学コースの学生は、学部の専門科目に「ヒューマン・コンピュータ・インタラクション(2年次以上対象)」という科目がありますので、この科目は履修せずにヒューマン・コンピュータ・インタラクションを履修するようにしてください。				☑	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形成支援分野 2024年度以降 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) キャリアで活かすITリテラシー (英文名) IT literacy for your Career				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) ITパスポートを学ぶ (英文名) Lets' Study IT Passport				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 高畑 貴志 (ローマ字) TAKABATAKE Takashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年生	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大 学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	ITパスポート, ストラテジ, マネジメント, テクノロジ IT Passport, strategy, management, technology				
21. 授業概要	<p>ITパスポートの教科書に沿って、以下の要領でITパスポートで求められる知識を順に身に付けていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず教科書で、ITパスポートに必要とされる知識を学習してください。</li> <li>・重要なポイントを説明文に起こしてみましよう。説明文のうち、具体的で重要な事柄を5～10個選んでレポートとして提出してもらいます。</li> <li>・その上で、オンラインで公開されているITパスポートの過去問に取り組むことで、学習した内容を確認してください。</li> <li>・2回の間中間試験をコース上で受験してください。</li> <li>・期末試験をコース上で受験してください。</li> </ul>				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<p>社会の活動を理解する。</p> <p>社会でのITの活用を理解する。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>マネジメント系の範囲から重要な事項を10個挙げ、簡単な説明が加えられる。</p> <p>ストラテジ系の範囲から重要な事項を10個挙げ、簡単な説明が加えられる。</p> <p>テクノロジー系の範囲から重要な事項を15個挙げ、簡単な説明が加えられる。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>

<p>24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)</p>	
<p>25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)</p>	
<p>26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法</p>	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回 学修の進め方     ストラテジ系 Part1         Chapter 8 企業の業務活動         Chapter 9 企業の戦略</p> <p>第2回 ストラテジ系 Part2     Chapter 10 業務とITビジネス     Chapter 11 法令やルールの遵守</p> <p>第3回 マネジメント系Part1     Chapter 6 システムの開発</p> <p>第4回 マネジメント系Part2     Chapter 7 システムの運用管理     第1回中間試験(ストラテジ系・マネジメント系)</p> <p>第5回 テクノロジ系Part1     Chapter 1 コンピュータシステム     Chapter 2 情報処理の基礎知識</p> <p>第6回 テクノロジ系Part2     Chapter 3 ITを支える各種の技術</p> <p>第7回 テクノロジ系Part3     Chapter 4 ネットワーク技術</p> <p>第8回 テクノロジ系Part4     Chapter 5 セキュリティ技術     第2回中間試験(テクノロジ系)</p> <p>第9回 期末試験</p> <p><b>【授業及び学習の方法】</b></p> <p>1.事前学習     レポート作成に先立って、テキストの内容を学習してください。</p> <p>2.レポート作成     学習した内容から、以下のようなレポートを作成してください。</p> <p><b>【レポートの書き方】</b></p> <p>・テーマごとに説明文をノートにまとめましょう。ノートに書いた中の指定した範囲から、5～10個を選んでレポートとして提出してもらいます。</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートにまとめる内容は、テキストからの書き写しではなく、自分なりの言葉でまとめること。冒頭の説明は体言止めや箇条書きでなく、通常の文とし表現すること。内容が不十分と教員が判断した場合、内容に間違いがある場合、文法的な間違いがある場合は再提出を求められることがあります。</li> <li>・提出されたレポートにはコメントを返すので、コメントを見て参考とすること。問題ない場合には「OK」、よく書かれている場合には「Good」とだけ返します。再提出が必要な場合には「再提出」という言葉にその理由を付けて返します。</li> </ul> <p>3.確認テスト</p> <p>レポート提出後に、各回の内容に対応した確認テスト(IPAが公開している過去問)を受験してもらいます。テストの成績が分かる資料の提出を求めます。</p>					
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>この授業は、非同期型のオンライン授業です。授業構成のうち2,3が、授業時間外学習に相当します。</p> <p>1.事前学習 2.レポート作成 3.確認テスト</p>	☑				
28. 成績評価の方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のレポート 20% レポートは全て提出すること。</li> <li>・毎回のレポート追加点 10% レポートにGoodの評価を受けている場合の加点</li> <li>・確認問題 30% 各回の内容に対応した確認テスト(IPAが公開している過去問)を受験すること。6割以上の正解を各回の合格条件とします。</li> <li>・中間試験 10% ITパスポート試験と同様の形式の問題を、Moodle上で出題します。制限時間内に解いてください。</li> <li>・期末試験 30% ITパスポート試験と同様の形式の問題を、Moodle上で出題します。制限時間内に解いてください。</li> <li>・単位修得のためには、すべての課題を終えた上、合計60点の点数を取得する必要があります。</li> </ul>	☑				
29. 再試験の有無	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">自大学学生向け</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>連携大学学生向け</td> <td>なし</td> </tr> </table>	自大学学生向け	なし	連携大学学生向け	なし	☑
自大学学生向け	なし					
連携大学学生向け	なし					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学15名・徳島大学15名・鳴門教育大学10名・高知大学15名・愛媛大学15名</p>	☑				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>この授業では、以下の1～3を、受講生の皆さんに求めます。</p> <p>1.パソコン環境</p> <p>IPAが公開している、ITパスポートのCBT疑似体験ソフトウェア(過去問)を利用できるパソコン環境が必要です。Windows 11 を搭載したパソコンで利用できます。<u>Macでは動きません。</u></p> <p>(URL) <a href="https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html">https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html</a> (2025年7月現在)</p> <p>2.自律力</p> <p>授業時間という強制的な仕組みがないため、主体的に取り組む姿勢や、自分で計画を立てて持続できる自律力が重要になります。</p> <p>3.やり抜く力GRIT</p> <p>ITパスポートで学ぶべき知識は多岐に渡ります。1回で全てを理解するのは難しいと思いますが、挫けずに何度も過去問を解くことで、理解が深まっていきます。</p>	☑				

	この授業では、生成AIの使用を禁止します。				
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	令和08年 ITパスポートの 新よくわかる教科書		<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN	978-4-297-15132-4	著者名 原山 麻美子	
		出版社	技術評論社	出版年 2025	
		金額	1,540円(税込み)	備考 令和09年版が発売されていれば、そちらを用いてもよい。	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書2	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書3	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目		なし	<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	eラーニングシステム Moodle 上の専用掲示板(フォーラム)を使います。			<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	eラーニングシステム Moodle 上の専用掲示板(フォーラム)を使います。			<input checked="" type="checkbox"/>

40. 教員の実務経験について	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	コンテンツは全てテキスト形式です。	<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他／備考	moodleの使い方についての問い合わせ先: elmanabi@kochi-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育科目		4. 授業形態／授業種 別	(e-Learning視聴＋自学自習＋小テスト受 験等) × 15回	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形成支援分野 2024年度以降 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) ピア・サポート理論と実践 (英文名) Peer support theory and practice				
8. 副題(日本語・英 語)	無し 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 杉田郁代 (英語) SUGITA Ikuyo				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	無し	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	ピア・サポート理論、人間関係トレーニング、ストレスに関わる基礎理論、アンガーマネジメント Peer Support Theory, Human relation Training, Basic theory about stress, Anger Control				
21. 授業概要	人を支えるピア・サポート理論とその活動を実際に行うためのプロジェクトマネジメントについて学びま す。ピア・サポート理論は、教育心理学や臨床心理学、健康心理学等の知見を複合しています。その基 礎知識を獲得するとともに、ピア・サポート活動に必要なコミュニケーショントレーニングについても授業 の中の体験を通して学びを深めていきます。授業の中では、学生の皆さんの発言や行動が、学ぶ仲間 (ピア)を助ける道具になります。よって、授業への積極的な参加を望みます。最終的には、大学生活に おいて、ピア・サポート活動を実践できるように授業を設計しています。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	人を支える活動(ピア・サポート)に関わる理論的な知識の獲得とそれらの知識を体験的に学び学習を 深めていきます。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活の中でできる他者に対するサポートについて考えることができる</li> <li>■ 他者とのコミュニケーションに関わる基礎知識を身に付け、考えることができる</li> </ul>				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>* 授業内容は、変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む)</li> <li>2. ピア・サポートの基礎知識の獲得</li> <li>3. 大学教育におけるピア・サポートについて</li> <li>4. ピア・サポート関連知識、コミュニケーションに関わる基礎知識について</li> <li>5. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験(1)「聞くことと聴くこと」</li> <li>6. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験(2)「自己理解と他者理解」</li> <li>7. コミュニケーションから生じるストレス</li> <li>8. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験(3)「思い込みについて考える」</li> <li>9. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験(4)「怒りとストレスについて考える」</li> <li>10. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得(1)～(4)の統合</li> <li>11. サポートに関わる基礎知識の獲得「サポートの限界について考える」</li> <li>12. 自分ができそうなサポート体験について考える</li> <li>13. 意見共有から学ぶ</li> <li>14. ティーチングに関わる基礎知識の獲得</li> <li>15. 日常生活の中のサポートについて考え、学びの実践から振り返る</li> </ol>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	授業外学習については、Moodle上に課題を提示しますので、確認をお願いします。		☑
28. 成績評価の方法と基準	授業中に課せられる課題:60点、ミニレポート(1回):20点、個人プレゼンテーション(1回):20点で成績評価し、合計60点以上の点数を習得する必要がある。授業回の学修活動が出席に相当する。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学25名 徳島大学25名 鳴門教育大学25名 高知大学30名 愛媛大学25名</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>学内外で、子ども達や地域の人と関わる学生、教職や社会福祉関連の仕事を目指している学生に受講を勧めます。いま、小中高等学校の現場においては、児童生徒の間のピア・サポート活動も盛んに行われています。また、大学教育においても導入が進んでいます。その大学教育における活動についても授業で取り上げていきます。</p> <p>人に関わるということは、コミュニケーションの基礎知識だけでなく、自分自身のことを理解しておくことと人をサポートするための知識が必要になります。誰かの役に立ちたい！何か新しいことを、人を巻き込んで始めたいという人は、ぜひ受講を勧めます。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目		<input checked="" type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	事前にメール(isugita@kochi-u.ac.jp)で連絡をお願いいたします。 授業回ごとに提出する課題の中に、授業に関わる疑問・質問などわからないことについて、記述してください。動画では、いただいた記述をフィードバックします。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Zoom等のweb対応できる場合のみ 事前にメール(isugita@kochi-u.ac.jp)で連絡をお願いいたします。 授業回ごとに提出する課題の中に、授業に関わる疑問・質問などわからないことについて、記述してください。動画では、いただいた記述をフィードバックします。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	isugita@kochi-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	isugita@kochi-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	学校現場の実務経験を持つ教員が、組織開発等において求められる人を助ける力であるピア・サポートの力全般を身に付けるための授業を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>	

41. バリアフリー対応	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
40. その他／備考		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	第2学期		
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング		
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形成支援分野 2024年度以降 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング			
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 業務効率化のためのIT活用入門 (英文名) Practical Use of Excel and Scripts for Business efficiency					
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 面倒なことはExcelとスクリプトで片付けよう (英文名) Semi-automate the Boring Stuff with Excel and Scripts					
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 高畑 貴志 (ローマ字) TAKABATAKE Takashi					
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜			
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし		
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	なし		
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室			
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし	
	連携大学 学生向け	なし		連携大 学 学生向け	なし	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	業務効率化, Excel, 生成AI, スクリプト処理, Python Business efficiency, Excel, Generative AI, Script processing, Python					
21. 授業概要	<p>日々の業務における「ひとつふたつであれば簡単に終わる単純な処理」が大量かつ頻繁に発生する状況を想定し、IT技術を用いた半自動化により業務を効率よく処理する技法を身に付けます。このような処理の具体的な例を挙げます(授業で学べば、短い時間でできるようになります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の名簿リストを統合し、重複をなくして整える。</li> <li>・多肢選択単一回答式のアンケートを、問題数に関係なく一定の時間で集計する。</li> <li>・複数のグラフに、同一の複雑な書式を、各グラフにつき一時間で適用する。</li> <li>・項目名とURLの対応表から、webページに貼れるハイパーリンク付きの項目名一覧を生成する。</li> <li>・対応表をもとに、複数のファイルの名前を一括して変更する。</li> <li>・表形式のデータから、特定の条件に該当するものを抽出する。</li> <li>・表形式のデータを、属性の値ごとに集計する。</li> </ul> <p>手軽に活用できるよう、Microsoft Excel を中心に「プログラミング」まで踏み込まない範囲の技法を扱います。また、生成AIを用いた業務効率化も体験します。</p> <p>また、大学が所在する地域に関する統計データを扱うことで、地元の地域に対する理解を深めます。</p>					<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<p>1.日々の業務で発生する「ひとつふたつであれば簡単に終わる単純な処理」を、IT技術を用いた半自動化により効率よく処理する技法を身に付ける。</p> <p>2.大学の所在地や日本に関する統計情報を、表計算ソフトを用いて処理できるようになる。</p>					<input checked="" type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. Excelが大量の業務を効率よく処理する原理を理解できる。 2. Excel に用意された大規模データ集計に向くツールを5つ挙げ、その機能を説明できる。 3. スクリプトによるバッチ処理の概要を説明でき、自分のPCで実行できる。 4. web上で公開されている統計データを探し、Excelに取り込める。 5. 1～4を統合して、自分の目的に応用できる。		☑
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<b>【授業計画】</b> 1. イントロダクション・Excelの基本 2. 置換・並べ替え・条件判断の活用 3. アンケートの集計 4. 生成AIの活用 5. 文字列の処理・スクリプト処理 6. 統計データの利用・フィルタ機能の活用 7. ピボットテーブルの利用 8. 総合演習(自分でテーマを設定したデータ処理の実施)  <b>【授業の進め方】</b> 1. Moodle上の資料を読み知識を身に付ける。 2. 身に付けた知識を確認するために用意された問題を解く。 3. 資料で学んだ知識と確認用の問題に関する確認用の小テストを受ける。 4. 最終課題では、自分の興味に応じて学んだ知識の応用に挑戦する。 5. 身に付けた知識の最終確認のため、期末試験を受ける(2回まで受験可,平均点で評価)  Moodleコース内には、参加者同士が情報交換できる掲示板を設けます。		☑
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	講義受講型ではないため、授業時間内・授業時間外という枠はありません。 eラーニングシステム moodle上のコンテンツを確認した上で、提示された活動に取り組んでもらいます。		☑
28. 成績評価の方法 と基準	・確認小テスト35% ・期末試験40% ・総合演習で作成した課題18% ・総合演習で他の受講生が作成した課題にコメントすること 7%  単位の修得には60点以上の成績が必要です。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	☑
	連携大学学生向け	なし	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学15名・徳島大学15名・鳴門教育大学10名・高知大学15名・愛媛大学15名	<input checked="" type="checkbox"/>																																											
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>この授業では、受講生の皆さんに1～5を求めます。</p> <p>1.基本的なパソコン操作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルeラーニング科目です。インターネットを介し学習コンテンツにアクセスし、パソコンで作業を行う必要があるため、パソコン操作は必須です。</li> </ul> <p>2.パソコンの環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに接続可能で、Microsoft Excelが使用可能なパソコンを利用できる環境が必要です。</li> <li>・自分が所有するパソコンでなくても結構です。(パソコン実習室などの利用でもよい)</li> <li>・Microsoft Excel のバージョンは、2016以降を想定しています(余程古いパソコンでなければ大丈夫でしょう)。</li> <li>・一部の回で、プログラミング言語 Python を使用します。(Pythonのプログラミングは授業では不要です。)自分のパソコンにPythonがインストールされていない場合は、インストールすることを求めます。(Python のインストール方法は授業内で紹介します。)</li> </ul> <p>3.生成AIの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の資料の一部には、ChatGPTの利用を前提とした内容を含みます。ただし、ChatGPTのアカウント作成は前提としません。また、Gemini や Copilot 等の他の生成AIを利用しても結構です。</li> </ul> <p>4.自律力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間という強制的な仕組みがないため、主体的に取り組む姿勢や、自分で計画を立てて持続できる自律力が重要になります。</li> </ul> <p>5.質問できる積極性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの操作が大きな比重を占めます。eラーニング上の資料だけでは十分に理解できないことやうまくいかないことに遭遇する可能性が少なからずあります。分からないことを分からないままにするのではなく、質問により解決する姿勢が重要です。そのような姿勢は、社会でも役立つことでしょう。(社会では「質問がない＝理解した。できる。」と見なされます。)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/>																																											
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																												
	ISBN			著者名																																									
	出版社			出版年																																									
	金額		備考																																										
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> </table>	参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																												
	ISBN			著者名																																									
	出版社			出版年																																									
	金額		備考																																										
参考書2	書名																																												
	ISBN		著者名																																										
	出版社		出版年																																										
	金額		備考																																										
参考書3	書名																																												
	ISBN		著者名																																										

	出版社		出版年		
	金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要。moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受 講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし		<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授 業公開日程					<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相 談場所／学生開示用 メール	自大学 学生向け	eラーニングシステム(LMS: Learning Management System)上の専用掲示板(フォーラム)で いつでも受け付けています。			<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	eラーニングシステム(LMS: Learning Management System)上の専用掲示板(フォーラム)で いつでも受け付けています。			<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験 について	なし				<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	コンテンツは全てテキスト形式(PDFとExcel)です。				<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他／備考	moodleの使い方についての問い合わせ先: elmanabi@kochi-u.ac.jp				<input checked="" type="checkbox"/>

2025年7月改訂